

編集室

プロ野球選手の息子に母親が言った。「無理しないでくれ」「母さん、プロは無理をしなくちゃいけないんだ」

当面のライバルはチーム内にいて、同じポジションを争い、互いに出場機会をうかがう。ベンチにいては、年俵は上がらない。けがを押し、無理をしてでも出場し、さらに活躍するのがプロ中のプロといわれる。

人並みの技量や練習では、選手生活は長続きせず、ふるいに落とされてしまう。求められるのは抜きん出た力と技。サラリーマンの生涯収入をほんの数年間で稼ぐには訳がある。苛烈な競争社会を勝ち抜く精神力も尋常ではない。

今号表紙や巻頭ページで紹介したように、中大硬式野球部の島袋、福田両選手がプロ野球ドラフト会議で指名された。子供のころから憧れていたプロ野球選手になれた、夢がかなった記念すべき日となった。好きな野球を「仕事」にする幸せな2人がいれば、プロ野球には若くして「戦力外」と解雇を告げられる選手もいる。

新たな球団に認めてもらうテスト、「12球団合同トライアウト」には59選手が集まった。中大OBもその中にいた。まだまだやれる、もっとプレーしたい。好きな仕事を続けようと真剣な顔が並んだ。

島袋投手は自覚していた。「楽な世界ではありません」。福田選手も覚悟を決めている。

「あこがれ」や「夢」の導入部は終わったといっていい。プロで活躍する土台づくり、無理のきく体にするために、今ごろは体を鍛え直している日々だろう。完全休日はおそらくないはずだ。

(編集長 久保田茂信)

Staff

◎取材協力

学事部	ボランティアステーション	キャリアセンター
各学部事務室	中央図書館	学友会
大学院事務室	国際センター	委員会 ほか
学生部	入学センター	

◎写真撮影提供&協力 中大スポーツ新聞部

◎表紙等写真撮影&提供

布施正義氏(クラフト、コア株式会社、中央大学生生活協同組合 コープスタジオ)

◎写真提供 AFP通信

◎学生記者

加藤静香	矢嶋万莉子	森田晴香	高崎莉世	古山樹里
石崎春日子	佐伯綾香	小野理世	増田ゆり	伊坂理花
田中未来	山口萌絵	西村卓真	野村有希	大藤真里奈
山口莉奈	田中佑樹	谷藤美佳	野村睦	代田知之
福田紗友里	竹田響	高瀬杏菜	山下蛍	猪瀬春奈
関いづみ	澤田紫門	中村亮士	菅野誠一郎	(順不同)

『HAKUMON Chuo』からのお知らせ

学内配布場所一覧

各キャンパスの以下の場所で配布しています。ぜひ手に取って読んでみてください。



- 多摩キャンパス
各学部・大学院事務室、学生部、図書館、グリーンテラス、キャリアセンター、学友会、国際センター、生協2階、入学センター、炎の塔
- 後楽園キャンパス
理工学部事務室、生協、ビジネススクール事務室
- 市ヶ谷キャンパス ロースクール事務室
- 市ヶ谷田町キャンパス
総合インフォメーションカウンター、アカウンティングスクール事務室
- 駿河台記念館 駿河台記念館1階ロビー

学生記者になりませんか？

『HAKUMON Chuo』は中大生が取材・編集する大学広報誌です。現在、学部在学生を対象に学生記者を募集しています。学生記者の取材現場、右端は島袋投手



お申し込み・お問い合わせは、下記編集担当:久保田茂信まで

学生が総力取材! 次号をお楽しみに!!

『HAKUMON Chuo』2015早春号NO.240は3月25日発行予定



2014 冬号 NO.239 2014年(平成26年)12月15日発行

発行 中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス hc@tamajs.chuo-u.ac.jp
編集担当 『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048